

## 平成 30 年度文化財調査報告書

名 称	考古資料調査
文化財名称	足利遺跡旧石器時代遺物
管 理 者	久喜市教育委員会（郷土資料館）
調 査 者	久喜市文化財調査委員 田中英司
同 行 職 員	池尻係長
調 査 場 所	郷土資料館
調査年月日	平成 31 年 2 月 26 日
概 況	<p>足利遺跡は県指定史跡足利政氏館跡に隣接し、標高 10～11m の旧利根川の自然堤防上に位置する。市立本町小学校建設に伴い、1972（昭和 47）年 8～9 月にかけて調査された。縄文時代後期称名寺式期の柄鏡形住居址を持つ集落を中心に、縄文時代草創期から古墳時代に至る、各時代の遺構・遺物が出土している。</p> <p>旧石器時代の遺物は、「石刃」と呼ばれる整った縦長の剥片を使ったナイフ形石器をはじめ、長さ 2～3cm の細石刃や槍先に使われた尖頭器等、11 点確認されている。</p> <p>出土石器は現在、市立郷土資料館に収蔵され、展示・普及資料として有効に活用されている。</p>
所 見	<p>足利遺跡の石器はナイフ形石器・細石刃・尖頭器という、理化学的な測定年代で今からおよそ 15000～12000 年前といわれる、後期旧石器時代後半の代表的な石器が揃っていることで注目される。</p> <p>市内では近年、（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団によって、旧菖蒲町に所在する小林八束 1・神ノ木 2・九宮 2 の各遺跡から良好な石器群が発見されている。足利遺跡はそれよりも 40 年以上前に市教育委員会主導で調査され、本市における最古の住人の足跡を確認できたことで大きな意義を持つ。市所有であることも、将来的な収蔵・保管の問題もない。</p> <p style="text-align: right;">調査委員 田中 英司</p>



ナイフ形石器 (1・2), 台形状石器 (3), ドリル (4), 細石刃 (5・6),  
 尖頭器 (7・8), スクレイパー (9・10), 石核 (11) 実測図